

お彼岸について知ろう

9月23日(水)

お彼岸とは、毎年「春分の日」と「秋分の日」を中日として前後3日間を合わせた7日間のことをさします。お彼岸に入る日のことを「彼岸入り」といいお彼岸が終わる日のことを「彼岸明け」といいます。

今年のお彼岸は、9月19日から9月25日までです。

お彼岸の中日である春分の日の意味が「自然をたたえ、生物をいつくしむ」、秋分の日が「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」という意味をもち、昔から先祖や豊作に感謝してきた日本の文化が影響しています。



お彼岸に食べる「おはぎ」と「ぼたもち」の違い

「ぼたもち」と「おはぎ」は同じものですが、呼び方が季節によって変わります。

「ぼたもち」の「ぼた」は春の花「牡丹」のことです。春のお彼岸の頃に「牡丹」の花が咲くので「ぼたもち」と呼ばれるようになりました。「おはぎ」は、秋に咲く「萩」の花が咲いている様子が、小豆の粒と似ていることから「おはぎ」と呼ばれるようになりました。



牡丹の花



萩の花